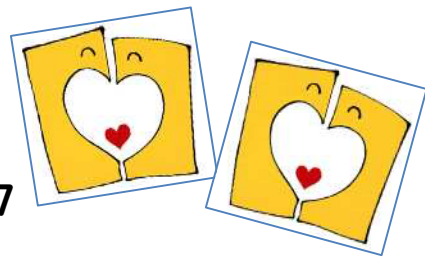


道徳通信

中島中学校 2学年道徳通信 No.7 R7.11.27



教材名『私の町』（郷土の伝統と文化）

【あらすじ】

「私」の住む町には、「村上大祭」や「町屋の人形さま巡り」といった伝統行事がある。また、武家町と町人町が残る町並みが特徴である。「私」は初め、自分が住む古い町屋に対し不満を持っていたが、大好きな祭りの担い手が減ってきていることや住んでいる町屋を観光客から褒められたことなどを通して、ふるさとについて考えを深めていく。



【ねらい】

郷土の祭りや町並みなどに対する「私」の思いを通して、ふるさとを思う心について考えさせ、地域社会の一員としての自覚を持ち、進んで郷土の発展に努めようとする実践意欲と態度を育てる。



郷土の伝統と文化ってなんだろう？

【授業の感想】

- 地域の活気と象徴の表れでもある祭りをこれからも守っていきたいと思えたし、文化財に指定されている祭りを辞めるのもデメリットになるのかなと思いました。これから自分も戻ってきたりして地域の祭りを守ろうと思いました。
- （前略）友達の意見でハッとしたこととして、祭りはただ楽しいだけではなく、人との交流、自然とのふれ合いの場になることだと分かった。
- 二十日祭りをし続けていくためには、まず自分たちが祭りを好きになって参加していき、地域以外の人でも参加しやすい雰囲気を作っていけばいいと思いました。これからも参加していく。
- 最初は中島を出たらもう戻ってこないようにしようと思っていたけど、この話を読んでやっぱり中島に戻ってこようと思った。文化が大切だと思った。
- みんなは祭りがとっても好きなのに、中島町に残りたいとは思わない人がたくさんいて、まだ、もやもやしています。なので、自分は中島町に残りたいと思いました。
- 自分は二十日祭りで中島に残りたいなって気持ちが変わって、そのために町おこしや時期が近づいてきたらSNSやポスターなどで他県へのボランティア募集などをして全地域で楽しく人との交流の場になってほしいなあ～と思いました。



本校では道徳の授業にゲストティーチャーをお招きすることもあります。10/30(木)の発表会では、松本正宏先生から地域の祭りについて、いろいろな話を聞きました。

ご家庭でも「中島町の伝統と文化」について話し合ってみてください。